



受付第04A1382号
 受付日：平成16年 8月19日

品質性能試験報告書

試験結果は以下のとおりであることを証明する。
 平成16年 9月30日

財団法人 建材試験センター
 中央試験所長 勝野中幸
 埼玉県草加市稲荷5丁目2番20号



試験名称	床合板を介した筋かい入り木造軸組耐力壁（片筋かい）の面内せん断試験									
依頼者	会社名：株式会社 カ ナ イ 所在地：埼玉県八潮市西袋717番1号									
試験体 (依頼者 提出資料)	<p>1. 接合金物 名称：木造建築用筋かい金物 商品名：皿ビス筋かいボックス I・H 用途：筋かい（45mm以上×90mm以上の木材）端部と軸組との止め付け部に使用する金物 寸法：厚さ2.3mmの鋼板を加工したもの（47.3×120×120mm、図-3参照） 材質：SPHC（JIS G 3131） 筋かいとの取合い：金物の内側に筋かいを設置（内使い）し、筋かいと軸組の外表面が一致するように取り付ける。</p> <p>2. 接合具 柱、梁及び筋かい側：3#角ビット皿スクリュー（ドリル刃先）φ5.5×45 呼び長さ：45mm、ねじ部の長さ：39mm、ねじ部の外径：5.45mm 谷の径：2.82mm、ねじ山のピッチ：3.15mm、ねじ先の形状：切り刃先 材質：SWRCH22A（JIS G 3507）相当品であり、下記の成分を満足する。 C(0.18~0.23%), Si(0.10%以下), Mn(0.70~1.00%) P(0.030%以下), S(0.035%以下), Al(0.02%以上) 表面処理：ダクロタイズド処理 柱側及び梁側4本、筋かい側7本使用 土台側：3#角ビット皿スクリューφ5.5×75 呼び長さ：75mm、ねじ部の長さ：55mm、ねじ部の外径：5.45mm 谷の径：3.35mm、ねじ山のピッチ：3.15mm、ねじ先の形状：とがり先 材質：SWCH18A（JIS G 3539） 表面処理：電気亜鉛めっき及びセラミックコーティング</p> <p>3. 使用軸組（耐力壁の長さ0.91m、高さ2.73m） 梁：樹種：べいまつ、寸法：105×180mm 柱及び土台：樹種：すぎ、寸法：105×105mm 柱：樹種：すぎ、寸法：105×105mm 間柱：樹種：すぎ、寸法：45×105mm 筋かい：樹種：べいつが、寸法：45×90mm 床合板：構造用合板（JAS特類1級）、厚さ：33mm</p> <p>4. 試験体数 3体 参照：図-1～図-3（試験体の形状・寸法）</p>									
試験方法	木造軸組工法住宅の許容応力度設計（監修：国土交通省住宅局建築指導課・木造住宅振興室、企画編集・発行：財団法人日本住宅・木材技術センター）の2章「木造軸組工法住宅の各部要素の試験方法及び評価方法」に従って行った。その詳細を表-1に示す。									
試験結果	<p>1mあたりの基準せん断耐力：3.5kN、終局変形角γ_uの平均値：1/17rad 耐力算定基礎資料等：表-2～表-4 荷重-せん断変位包絡線の比較：図-4 荷重-せん断変位包絡線、変形角曲線及び変位曲線等：図-5～図-11 破壊状況：写真-1～写真-4</p>									
備考	<p>当該試験結果から、厚さ33mmの床合板を介した筋かい入り木造軸組耐力壁は、木造軸組工法住宅の許容応力度設計の2章の2.1「筋かい端部の仕口」による必要引張耐力：筋かい断面45×90mmで2.94kN以上、かつ、終局変形角γ_uは1/30rad以上であることが明らかとなったため、 平成12年告示第1460号の一の二に定める接合方法の性能を満足する。</p>									
試験期間	平成16年 9月 9日 ~ 10日									
担当者	<table border="0"> <tr> <td>構造グループ</td> <td>試験監督者</td> <td>橋本敏男</td> </tr> <tr> <td></td> <td>試験責任者</td> <td>高橋大祐</td> </tr> <tr> <td></td> <td>試験実施者</td> <td>守屋嘉晃</td> </tr> </table>	構造グループ	試験監督者	橋本敏男		試験責任者	高橋大祐		試験実施者	守屋嘉晃
構造グループ	試験監督者	橋本敏男								
	試験責任者	高橋大祐								
	試験実施者	守屋嘉晃								
試験場所	中央試験所									